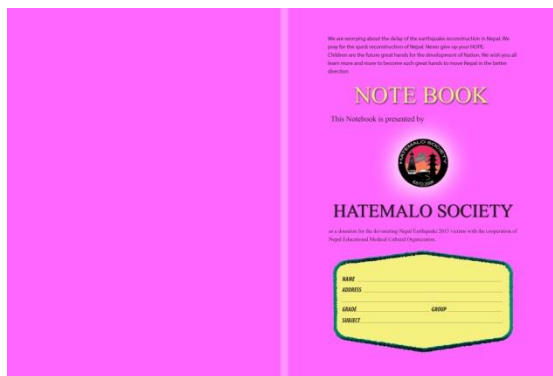


# ハテマロ会 ネパール大震災復興支援募金プロジェクト



## 「第2回ネパール帰国復興支援活動」 報告書



2016年9月15日（木）～2016年9月24日（土）

作成者：ラジブ・シュレスタ

作成日：2016年10月4日（火）

## プロジェクト名：ネパール大震災復興支援募金

- ・ **対象国名**：ネパール連邦民主共和国
- ・ **プロジェクト概要**：ネパール大震災により被害を受けた方々に希望を与える
- ・ **プロジェクトサイト**：ラリトプール、カトマンズ、バクタプール、バネパ
- ・ **プロジェクトの背景**：この度 2015 年 4 月 15 日（土）現地時間 11 時 56 分頃ネパールの首都カトマンズから北西約 80 キロに当たる中部ゴルカ郡を震源とする M7.8（米国地質調査所）の大地震が発生しました。この地震により首都カトマンズを含む広範囲にわたり甚大な被害が及びました。さらに 5 月 12 日（火）現地時間 12 時 50 分頃首都カトマンズの東北東約 75 キロに当たるチベットとの国境の街コダリ付近を震源として M7.3 の大余震が発生し、それによって被害がさらに拡大しました。この地震によって計 8,959 人が亡くなり、計 22,302 人が負傷したとの報告があります。60 万軒以上の家屋が完全に倒壊しました（UNICEF）。ネパール政府は、世界銀行、UNDP、JICA 等の支援を受けて災害後ニーズ調査を実施し、この地震による被害総額は 7,065 億ネパールルピー（約 8,689 億円）、復旧・復興のための資金ニーズは 6,695 億ネパールルピー（約 8,235 億円）と算出しました。またネパールの 2015/2016 年度（2015 年 6 月～2016 年 7 月）の実質 GDP 成長率は 0.56%（ネパール中央統計局）と非常に低くなるなど、地震によるネパールの経済への影響が相当大きかったです。

これらの総被害額及び総復興額のうち、教育セクターについては被害総額が 313 億ネパールルピー（約 384 億円）、復旧・復興のための資金ニーズが 397 億ネパールルピー（約 488 億円）とされ、全体の復旧・復興のための総資金ニーズの 5.9%を占めており、住宅に次いで 2 番目に復旧ニーズの高いセクターとされています。（JICA）

教育セクターにおける被害状況に関しては、全壊あるいは大きな被害を受けた教室数が 31,000 教室以上、それ以外の被害を受けた教室が 16,700 教室以上、その他トイレ、給水設備、学校家具などの損害が確認されています（UNICEF）。被害のあった学校の生徒たちは、竹やビニールシートやトタンで作られた仮設教室で授業を受けていました。多くの学校においては現在に至っても仮設教室での授業運営が余儀なくされています。

・ **プロジェクトの必要性**：この地震被害への支援策として、世界銀行は総額 USD 500 百万、アジア開発銀行は総額最大 USD 600 百万の支援を行っています。（JICA）しかし、政府の復興活動は遅々と進んでおらず、特に教育セクターへの支援はすべての被災地に平等に回っておりません。そこで民間からの支援が期待されているのです。

・ **プロジェクトの目的**：本事業は大地震により寛大な被害を受けた学校及び文化遺産の再建、被災者に直接支援をし、笑顔を届けることを目的とする。

・ **プロジェクト全体の中で今回の帰国の位置付け**：この度、シュレスタ・ラジブが 2016 年 9 月 15 日（木）～9 月 24 日（土）（9 泊 10 日）の予定でネパールの被災地を訪問しました。広大な被災地域の内ラリトプール市の山間地の震災状況を確認し、以下の学校の代表者と意見交換をし、古着やノートの配布を実施して参りましたのでご報告いたします。

・ **視察訪問地域**：ラリトプール市の村々（Godamchaur 村、Sanogaun 村、Luvu 村、Laekuri Vanjyang 村、Khokhana 村、Bungamati 村、Ghusel 村、Bhardeu 村）、パタン旧王宮、カトマンズ旧王宮、カトマンズの Sitapaila 村、Kumbheshor 寺院、Karyabinayak 寺院、Rudrayani 寺院、Jalabinayak 寺院、Swoyambhunath 寺、Boudhnath 寺、Guheshori 寺院、Pashupatinath 寺院。

・ **支援活動**：古着の配布、ノートの配布（計 1,000 冊）、食事交流会、無料デンタルクリニック

・**帰国の目的**：大震災後昨年 9 月に帰国して被災状況を調査して参りました。その際たくさんの被災者と触れることができ、こちらの支援活動に心から喜んでくれました。もう一度触れ合うことと予定していた支援対象学校の再視察をするのが目的です。

### スケジュール

- 9 月 15 日（木）17:25 成田/東京発⇒21:55 バンコク（BKK）/タイ着。空港内トランジット。  
 9 月 16 日（金）10:15 BKK 発⇒12:20 カトマンズ着。Namuna Machhindra High School 訪問、ノート配布。学校訪問などネパール滞在中のスケジュール調整。  
 9 月 17 日（土）学校訪問を手配してくれる方々と打合せ。パタン旧王宮訪問。  
 9 月 18 日（日）Shree Bishankhu Narayan Secondary School 訪問、ノート配布、古着配布。Godamchaur 村視察。  
 9 月 19 日（月）学校訪問を手配してくれる方々と打合せ。Shramik Shanti Higher Secondary School 訪問。お母さんの会や学生にノート配布。  
 9 月 20 日（火）Khokhana 村、Bungamati 村、カトマンズの Sitapaila 村、カトマンズ旧王宮、Karyabinayak 寺院、Rudrayani 寺院、Jalabinayak 寺院、Swoyambhunath 寺、Boudhnath 寺、Guheshori 寺院、Pashupatinath 寺院視察。  
 9 月 21 日（水）Sanogaun 村、Luvu 村、Laekuri Vanjyang 村視察。Siddhi Mangal Secondary School 訪問、ノート配布。Basuki Secondary School 訪問、ノート配布。  
 9 月 22 日（木）Ghusel 村、Bhardeu 村視察。Shree Ghusel Secondary School 訪問、ノート配布。Gupteshor Lower Secondary School 訪問、後日ノート配布。  
 9 月 23 日（金）Kumbheshor 寺院視察。13:30 カトマンズ発⇒18：15 BKK 着⇒22：10 BKK 発。  
 9 月 24 日（土）6：20 成田着

### 活動内容

#### 1. 被災地視察訪問：



Kumbheshor 寺院



Boudhnath 寺



Bungamati 寺



Karyabinayak 寺院



Jalabinayak 寺院



Rudrayani 寺院



Swyambhunath 寺



Guheshori 寺院



Pashupatinath 寺院



Khokhana 村



Bungamati 村



mchaur 村

Goda



Sitapaila 村



Sanogaun 村



Vanjyang 村

Laekuri



Luvu 村



Ghusel 村



u 村

Bharde

パタン旧王宮



## カトマンズ旧王宮



上記のとおりカトマンズ郊外のいくつかの村々及び文化遺産を視察しました。いずれもネパール大震災による甚大な被害を受けています。今回訪問した文化遺産はいずれも世界文化遺産又は国の重要文化遺産だったので、ユネスコなどの支援で工事そのものは始まっています。新たな場所で新築の家々がかなり増えていることも目立ちますが、古地の崩壊した家々がそのままになっているところが印象的でした。被災者の方々は、地震のことが現在話題にもならないほど、大震災のことを忘れていました。「生きていくためには仕事をしなければならないので地震のことばかりを考え込むことは徐々になくなりました」と話す方もいました。政府による復興活動はあまり見受けられませんでした。地震後はさまざまな厳しい法令も発布されていて、国際 NGO の支援も難しくなっていると聞きました。いずれにしても貧困世帯の住民にとって地震による影響は非常に大きくて、今後も長らく困窮な生活を送らなければならない環境におかれているように思いました。

## 2. 下記の学校を訪問してハテマロ会印字のノートを配布しました。

### ① NAMUNA MACHHINDRA HIGH SCHOOL, Lagankhel, Lalitpur (9月16日)



### ② SHREE BISHANKHU NARAYAN SECONDARY SCHOOL, Godamchaur, Lalitpur

(9月18日) : 古着も配布しました



### ③ SHRAMIK SHANTI HIGHER SECONDARY SCHOOL, Chyasal, Lalitpur (9月19日)



④ SIDDHI MANGAL SECONDARY SCHOOL, Sanogaun, Lalitpur (9月21日)



⑤ BASUKI SECONDARY SCHOOL, Laekuri Vanjyang, Lalitpur (9月21日)



⑥ SHREE GHUSEL SECONDARY SCHOOL, Ghusel, Lalitpur (9月22日)



スクマンさんの母校を再視察しました。震災によってこの村の95%の家屋が崩壊したと報告されています。大変困っている様子がうかがえる光景でした。使えない部屋は壊して更地にして、いまだに劣悪な環境の仮設教室に授業が行われていました。この地域はラリトプール中心地からたったの27キロ離れたところにあるが、通行止めになる村ですので政府の目も届いていないという説明を受けました。学校に通っている生徒たちは貧しい家庭出身の子供たちでしたので200人に4冊ずつノートを配布しました。



⑦ GUPTESHOR LOWER SECONDARY SCHOOL, Bhardeu, Lalitpur (9月22日) :

後日ノート 400冊を校長先生に手渡ししました。



## 謝辞

以上、第2回ネパール帰国大震災復興支援活動の報告になります。これまでネパール震災を受けて心を痛まれ、善意の義援金をお寄せいただきました皆様に、改めてこの場を借りて心より御礼を申し上げます。近いうちに募金目的としておりました被災学校の建築支援を実施致します。

最後に、一言付け加えると、復興の作業は震災後1年6カ月経った今でも復興が進んでおらず、ネパールの大震災からの復興は程遠いように感じます。政府からの復興支援活動開始にはまだ長い時間が要すると推測できます。そこで民間からの復興支援活動は非常に重要になっているのが現状です。民間活動であるだけに大規模の支援はできないが、地道に小規模の被災者密着型支援を続けるのが効果的であると思います。ハテマロ会も被災者のニーズに応えられるように尽力して参りますので、今後ともご協力ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上